



# せいひ会だより

2015年(平成27年)  
10月1日発行  
<第186号>  
社会福祉法人せいひ会  
<http://www.seihikai.jp/>

シニアヴィレッジ せいひ  
2015年 10月 OPEN



10/1、西彼町鳥加郷に「シニアヴィレッジせいひ」がいよいよオープン致しました。中山郷にあった老健・元亀の里、グループホーム、通所リハビリが移転。そして新たに、せいひ中央クリニックを併設致しました。  
地域の皆様方を、介護・福祉・医療サービスでサポートできるよう、より一層努めてまいります。よろしくお願ひ致します。

## 9月の行事

- 02・16日 書道教室(元亀・通所)
- 17日 運営推進会議(寿限無)
- 19日 敬老会(風和)
- 20日 中山郷・せいひ会合同敬老会
- 21日～23日 シニアヴィレッジせいひ内覧会
- 21日 誕生会(元亀・通所)
- 21日 敬老会(寿限無)
- 21日 月見会(GH)
- 27日 お月見(風和)



**せいひ中央クリニックのご案内**  
診療科目: 内科・老年内科、循環器内科  
診療時間: 8:30～18:00  
(12:30～14:00はお昼休み)  
休診: 木曜・土曜午後、日・祝日

せいひ会のホームページが、より見やすく、わかりやすくなりニューアル!  
スマートフォンでもご覧いただけます。  
ぜひご覧下さい!

せいひ会

検索

## 10月の行事予定

- 07・21日 書道教室(元亀・通所)
- 17日 運動会(風和)
- 19日 誕生会(元亀・通所)
- 19・26日 バスハイク(GH)



☆9月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



森 喜久代様

今回は予防通所リハビリテーション:森喜久代様にお話を伺いました。

昭和15年、八木原に8人兄弟の7番目として生まれる。

小さい頃に3人の兄が亡くなり、5人の兄弟の中で育った。家は農家で、小さい頃から活発だったため、小学校3年生には畠の草取りに連れて行かれた。

中学校卒業後は、家の農業を手伝った。父親は厳しく「農業をしていれば、食べるのには困らない」という言葉が口癖だった。

20歳で農家に嫁ぎ、1男2女に恵まれた。4年間は農業に精を出し、夫が若く亡くなつたため、その後は近

のは大変でした」と話されていた。  
定年まで働き、その後はできる範囲でミカン作りをしていた。

70歳で病気や怪我など重なり色々とあったそうだが、リハビリを頑張り歩けるようになったそうだ。

71歳の時に通所リハビリへ通うようになった。「皆と話をしたり、レクリエーションをしたりと今が一番楽しい」とのこと。

また「通所リハビリに通い始め、4回目の誕生日を迎えることができて幸せです」と話されていた。

お誕生日おめでとうございます。

# Vitality Space

バイタリティースペース

## うたの時間

衣  
が  
え

み  
ち

元亀 田中キレイ

風和 田中アキ

豊  
作

家  
庭

通所 山脇良人

じゅげむ 高松恵美子

雨上がり  
雲かすめども  
(風和) 立石ミドリ  
映える紅葉

十三夜の月  
七時頃  
月見団子を頂きぬ  
十三夜の月  
仰ぎ見るながら  
(G H) 江川節子

秋となり  
朝夕感じる  
(風和) 作中和子  
肌寒さ

名月の  
昇るを見つづ  
コオロギや鈴虫達の  
オーケストラ聴く  
(風和) 中島マツ

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバイタリティの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。



## 敬老会



9/21に寿限無で行われた敬老会。利用者御家族による二胡演奏や、職員による「長生きサンバ」等の面白おかしい演芸を見て、楽しいひと時を過ごしました。

## お月見



9/21、グループホームの方々はきれいな月を鑑賞。この日の為に炭坑節を練習したり、当日昼間には皆さんでお月見団子の準備など大忙し。その甲斐もあり、夜にはご覧のような月を眺めることができました。



## 中山郷・せいひ会合同敬老会



9/20、風和の里ふくろうホールで中山郷とせいひ会の合同敬老会を行いました。今年で9回目を迎えた、この合同敬老会。今年はあいにく、中山保育園の運動会と日程が重なり、子供さん達の芸能参加等はなかった敬老会となりましたが、厨房の方々の協力による豪華なバイキング料理や、中山郷の方々による踊りや歌、せいひ会職員による芸能などで盛り上りました。敬老者の皆様方、今後もお元気で健康な毎日をお過ごしください。

### オヤジ 敏美の独り言

（ノロウイルスにご用心）



激しい嘔吐や下痢を引き起こすノロウイルスの「新型」が今年初めから関東地区を中心に感染が広がっている。最近では関西地区でも検出報告がなされていて、全国に拡散する可能性が出てきたとのこと。ノロウイルス感染が今や「市民権」を得たような当たり前の昨今、危機感も薄れているのが事実ではないだろうか？

ある研究所長は「過去最悪の感染者が出た2006年のような大流行も考えておくべき」と、警戒心を強め

ている。またその所長は、「新型だからといって特別な対策をするのではなく」日頃に行う「十分な手洗いや二枚貝の加熱調理の徹底」を呼び掛けてい

る。福祉施設職員として当たり前のことではあるが、インフルエンザ予防も含め「手洗い・うがい」を徹底していこうと強く思った今月でした。

ご面会に来られる御家族等の皆様も、最大限のご協力を願い致します。（細菌をつけない、増やさな